

ースとしては相当なものと思つて参りました。

蔦田 TTの路面とくらべてヘヤニピンコーナーはどうでしょうか？

田代 一番ひどいカーブでは、500CCのノートンで、ギアを10回から使うとい入ます。トップで4回、ローで6回です。レースは前の日に予選をやり、タイムのよいものから1メートルおきに並んで一べんにスタートするやり方でした。従つて、興行的な考えなど少しもなく、全く車の性能を競うということに徹底していました。

司会 各クラスの走破距離はどういうきめですか？

田代 500CCは25周で200km、350CCは16周の120km、250CCは10周で80km、125CCは8周で64km

司会 で、優勝者とその記録はどの程度です？

田代 記録はこれですが(別掲)125はモンデアル250がグツシュ、350と500はノートンがそれぞれ優勝しています。

カーブ稼ぐ日本選手

司会 外国選手のレースを見て特に感じたことは？

大村 決して無理をして走らないということです。落ちついたもので、自分の車に頼つて悠々と走っているという感じですね。こちらは一生懸命なんですが……

島 あちらのニュースでは日本の乗り手はうまいということでしたが……

大村 なにしるスピードが違うので、こちらはカーブで稼がないと(笑)間に合わないのです。それでもストレートではおいて行かれて了う。

田代 特にハツキリするのは下り坂を下りきつた所でカーブして登りになるときです。どうにも仕方がない。

蔦田 車に差があるのでカーブで隊いなのですが、カーブで差をつめるとストレートで放されるということですね日本の選手は若く非常に操縦はうまいと認められたのはよかつたですね。

島 ドリームの変速は何段ですか、外国のは5段が多いでしょう。

大村 うちのは2段です。向うのものは大抵4段です。
多田 ロードレースでは5段というのは感心しないのせいで4段でしょう。チェンジだけおくれる。長距離は駄目です。

車も服装も全く違う

司会 出走車はレーサーということですが、特に気がついたことは？

田代 スピードの点で、今後参考になつたことは、サードならサードでスロットル全開で相当のスピードを必要とすることですね。

小島 ノートンなどは特にそうだが、外の車でも実用車とは全く異つた独自の設計でしょう？

田代 そうです。出走車は各国最高のもので、ノートンなど去年TTで優勝した車ということでした。

そういう車をレースのたびに技術者が欠点を探して更に改善してよりよいものにするということを実際にやっています。

小島 こちらはなんといつでも無理ですよ。優れた技術者でも図面を引いてから3カ月はかかりますよ。完走しただけでも自慢していき、レーシングは全然別なものだから。

島 しかし、いろいろな意味でいゝ体験でしたね。

村田 私どもも経験が目的でした。

島 車の乗り方も日本のトラックのそれでは駄目です。

小島 だいたい服装から違うでしょう。

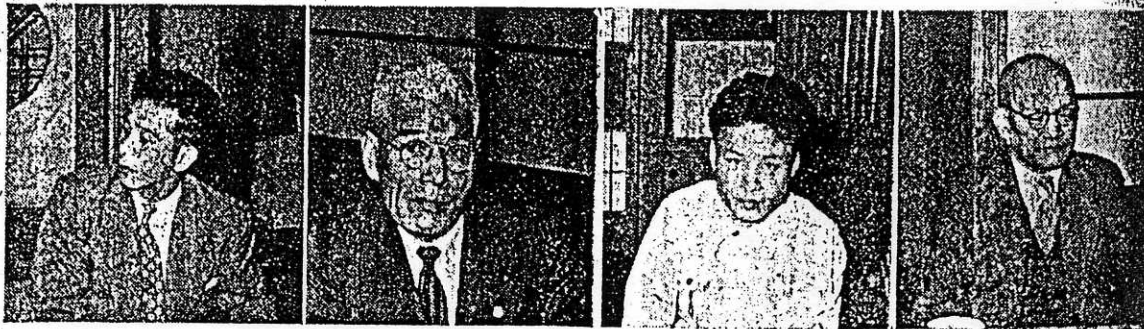
田代 練習に出たとき、外国の選手を見てハツとしました。靴がら違う。極端にいうとゴムゾーリを履いているようなもので、ギヤのチェンジや操縦が早く楽にできることを考えているのです。

選手自身も、車に頼つて乗っています。

外国選手は走るだけ

司会 車の整備などは？

田代 初めは不愉快だつたのですが、向うの選手は車のことをいろいろきいても答えてくれません。もち論教えて



田代勝弘氏

多田健三氏

馬場利治氏

蔦田鉄司氏